

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	体育
科目基礎情報					
科目番号	0036		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械電気工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	北 哲也				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 自己や周囲の安全に留意しながら、仲間への適切な働きかけを意識した主体的な行動をとることができる。 各スポーツ種目の基本技能を習得し、ゲームの中で実践することができる。 水泳、長距離走においては、個人の目標に向けて努力する態度、また生涯スポーツとして継続的に運動を実践できる能力を養う。 心肺蘇生の手法を理解し、人命救助に積極的に関わる意識を養う。 					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	自己や周囲の安全に留意しながら活動することができる。協力が必要な場面において、仲間への適切な働きかけを意識した主体的な行動をとることができる。		自己や周囲の安全に留意しながら活動することができる。協力が必要な場面において、自身の役割を意識して行動することができる。		自己や周囲の安全に留意しながら活動できない。主体的・協力的な行動をとることができない。
評価項目2	各種スポーツのルールを理解できる。基本技能を習得し、ゲームの中で実践することができる。		各種スポーツのルールを理解できる。基本技能を習得できる。		各種スポーツのルールを理解できない。基本技能が習得できない。
評価項目3	自己の能力を理解し、適切な運動技能、運動強度を判断し、応用的技能の習得や体力向上をはかることができる。		教員が指示した運動課題に従い、運動の基本技術や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の基本技術や体力を身につけることができない。
評価項目4	一次救命処置の手順を設定された時間内で的確に実践できる。		一次救命処置の手順を正しく実践できる。		一次救命処置の手順を正しく実践できない。
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 A 2					
教育方法等					
概要	豊かなスポーツライフを実現するための基礎となる知識・技術の確実な定着を目指す。				
授業の進め方・方法	基本技能の手法や手順を教示し、技能習得の練習を行う。各種スポーツのルールを理解し、ゲームを行う。理解を深めるために資料を配布することもある。				
注意点	<p>学校指定の体操服、体育館シューズを着用すること。 屋外では運動に適したシューズを履くこと。 見学時は体操服で見学すること。 身体的事情で長期見学する場合は医師の診断書を提出すること。 各種目の出席状況によってはレポート課題の提出を指示することがある。 授業中は、時計を含むアクセサリー類の着用を禁ずる。</p> <p>【評価】 各種目の運動技能・授業へ取り組む姿勢、出席状況から総合的に評価する。各種目毎の運動技能（40%）と授業への参加姿勢・態度（20%）および出席状況（40%）によって総合的に評価する。前期・後期共に定期試験は行わない。</p>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション：授業の進め方の説明		授業の進め方、評価方法および注意事項を理解できる。相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。
		2週	新体カテスト 1. 屋外種目		50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げの測定
		3週	新体カテスト 2. 屋内種目		握力・長座体前屈・反復横跳び・上体起こしの測定
		4週	新体カテスト 3. 屋内種目		20mシャトルランの測定
		5週	バレーボール 1. 個人技能の習得		オーバーハンドパスができる。アンダーハンドパスができる。
		6週	バレーボール 2. 個人技能の習得		サーブが正確に打てる。スパイクが打てる。
		7週	バレーボール 3. ゲーム		ルールを理解し、基本的なゲームができる。チームの課題を仲間と共有し、解決に向けて取り組むことができる。
		8週	バレーボール 4. 実技テスト		オーバーハンドパス
	2ndQ	9週	水泳 1. 基本的技能の習得 クロールの練習、平泳ぎの練習		安全に留意して水泳ができる。クロールで50mを泳ぐことができる。クイックターンができる。平泳ぎの泳法を理解し、実践できる。
		10週	水泳 2. 基本的技能の習得 クロールの練習、平泳ぎの練習		クロールで50mを泳ぐことができる。クイックターンができる。平泳ぎの泳法を理解し、実践できる。
		11週	水泳 3. 総合的技能の習得 クロールの練習、平泳ぎの練習		クロールで50mを泳ぐことができる。クイックターンができる。平泳ぎのターンができる。平泳ぎで50mを泳ぐことができる。

後期		12週	水泳 4. 総合的技能の習得 クロールの練習、平泳ぎの練習	クロールで50mを泳ぐことができる。クイックターンができる。 平泳ぎのターンができる。平泳ぎで50mを泳ぐことができる。	
		13週	水泳 5. 実技テスト (タイム計測 クロール50m)	記録に挑戦することができる。	
		14週	水泳 6. 実技テスト (タイム計測 平泳ぎ50m)	記録に挑戦することができる。	
		15週	水泳 7. 着衣泳・救助法	水辺の事故に備えた水難救助法を理解し、容易なものについて実践できる。	
		16週			
	3rdQ	1週	【保健分野】一次救命処置 1. 心肺蘇生法の実践	心肺蘇生法を学ぶ意義、手法と手順を理解している。 心肺蘇生法を人体モデルを用いて実践できる。	
		2週	【保健分野】一次救命処置 2. 心肺蘇生法の実践、テスト	心肺蘇生法を人体モデルを用いて実践できる。	
		3週	一次救命処置 3. テスト		
		4週	ニュースポーツ：アルティメット 1. 基本技能の習得	ディスクの特性を理解し、基本的なスローを実践できる。	
		5週	ニュースポーツ：アルティメット 2. 基本技能の習得	狙った場所へスローできる。走り込んでキャッチできる。	
		6週	ニュースポーツ：アルティメット 3. ゲーム	ルールを理解し、基本的なゲームができる。	
		7週	ニュースポーツ：アルティメット 4. 実技テスト	スロー・キャッチの技術	
		8週	陸上競技 1. 長距離走 タイム計測	記録に挑戦することができる。	
		4thQ	9週	陸上競技 2. 長距離走 タイム計測	記録に挑戦することができる。
			10週	陸上競技 3. 長距離走 タイム計測	記録に挑戦することができる。
			11週	バスケットボール 1. 基本技能の習得	正確なパスができる。フリースローを決めることができる。
12週	バスケットボール 2. 基本技能の習得		素早いドリブルができる。レイアップシュートができる。 フリースロー、レイアップシュート練習。		
13週	バスケットボール 3. ゲーム		ルールを理解し、基本的なゲームができる。		
14週	バスケットボール 4. ゲーム		ルールを理解し、基本的なゲームができる。 チームの課題を仲間と共有し、解決に向けて取り組むことができる。		
15週	バスケットボール 5. 実技テスト		フリースロー、レイアップシュート		
16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	実技	出席	態度	合計	
総合評価割合	40	40	20	100	
基礎的能力	40	40	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	